

SGH海外学習 – 英国研修 [平成31年3月2日～10日] ・ドイツ研修 [平成31年3月9日～17日] を行いました。

セント・ポールズ校、セント・ポールズ女子校との交流

国内事前研修で取り組んだ**課題研究の成果を、スライドを用いて発表**しました。発表後には質疑応答の時間が設けられ、**英国に住む姉妹校生徒の視点を知ること**で、研究内容についての理解をより深めました。授業参加では、日本と全く異なる授業形態に驚きながらも、それがクラス約8～20名という小人数であるからこそ可能である点を認識し、ホームステイ先で目の当たりにした姉妹校生徒の宿題への取組や、校内見学で見た図書館での自習、共有スペースでの勉強会等によってもそれが支えられていることを実感しました。その他、**英国の政治と歴史に関する特別講義**にも参加しました。



研究機関・国際機関訪問研修

ケンブリッジ大学図書館では、日本部門の長であるクリスティン・ウィリアムズ氏及び本校卒業生の小山騰氏（前チーフライブラリアン）により、館内を見学しながら、**研究機関としての図書館の役割**について教えていただきました。また図書館収蔵の日本の文化や文学に関わる貴重な写本や版本を見せていただき、**日本研究の目的や方法**、そして**アーカイブ化の意義**を学びました。**在英国日本国大使館**では、板倉寛参事官の対応の下、英国では**人種や障がい等の多様性や子どもの存在に対する寛容さが世界でも極めて高いこと**、また人工知能の進出が著しくなる今後、生徒がグローバル・リーダーとして活躍するためには、**人間のみがもつ感性を生かし、その分野で「一番目」となる新しい知を生み出すことが必要**との話を聴き、自らがすべきことを考えながら**専門分野を極め、独自性を打ち出していくこと**の大切さを学びました。



グリニッジ研修・ロンドン市内研修

英国をはじめとした古代ヨーロッパの歴史（**大英博物館**）と英国王室の発展の歴史（**ロンドン塔**）を学び、大きな庭園を含む王家の邸宅（**ケンジントン宮殿**）を訪問し、さらに世界各国から収集された品々を目の当たりにする（大英博物館、**ヴィクトリア&アルバート博物館**）ことができました。これら一連の訪問を通して、英国がヨーロッパ各地との人・モノの移動を経て基盤をつくり、中世以降は王家中心の体制の下で積極的に世界各国に進出し、**一大国家として発展してきた歴史**を学びました。また、日本と同じ地理的境遇にある英国が、日本よりもはるか以前から積極的な進出策をとり、グローバル国家として名を馳せてきたという事実から、**国家と個人とで規模は違えども、今後、生徒が島国・日本から世界に向けて飛び出すイメージを描く**ことができました。

オットー・フォン・タウベ・ギムナジウムとの交流

国内事前研修を通じて研究したテーマについて、**パワーポイントスライドを用いて発表**しました。発表後、グループに分かれ質疑応答を行い、互いの文化についての理解を深めました。ディスカッションでは、**日独間の誤解と実態**とを話し合い、また、本校生徒が**折り紙や漢字を紹介するワークショップ**を行いました。英語、数学等の授業に、姉妹校の生徒とともに参加しました。**日本文化及び日本とドイツとの違い**等について質疑応答を行った授業もありました。



国際企業・国際機関訪問研修

BMW社

ミュンヘンに本社を構え、国際展開している企業を訪れ、**グローバル社会で求められるものづくりやグローバル・リーダーの資質**について学びました。



在ミュンヘン日本国総領事館

坂本主席領事と飯田副領事から領事館の仕事や**グローバル社会で活躍するために必要な資質**等について話をうかがいました。その後、活発な質疑応答が行われ、生徒はグローバルマインドを向上、深化させました。



ミュンヘン市内・市外研修

旧ミュンヘン市内のマリエンプラッツ駅周辺にある歴史建造物等を見学しながら、**ミュンヘン市の歴史・文化**について学びました。名所旧跡（ノイスヴァンシュタイン城）を訪問し、**ドイツ・バイエルン州の歴史**について学びました。世界遺産（アウグスブルク・リーゲンスブルク）を見学し、**古代ローマ時代より続く街や建物の歴史**を学習しました。



課題研究テーマ一覧 [・英国 *ドイツ]

- ・ Religion in Japan
- ・ Japanese Words for the First Person
- ・ SAVE THE CULTURE. LIVE IN THE CULTURE.
- ・ The Possibility Emergency Foods Have
- ・ The Future of Japanese Labor
- ・ Ocean Plastic Problems
- ・ Economic Gaps and Educational Gaps
- ・ Aging Society with Fewer Children
- * Live With Refugees
- * Japanese Bath Culture
- * Resource Recycling Society
- * Aging society and AI